京城新報

明治四十三年　紀元二千五百七十年
定價（後▲一枚金二錢▲一ヶ月前金壱圓▲六ヶ月前金弐圓▲郵税一ヶ月十三錢）
廣告料金（五號活字十七字詰一行金七十五錢）
▲五號活字十七字詰一行一圓金十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

印刷兼發行人　高木久馬太
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

韓國經營と人口問題（一）

於仁川　山下南海

韓國經營を論ずる者須からく眞摯の研鑽に待ちて確實の資論を主唱せざるべからず、然るに世上殖民の何物たるを解せず亦た列國殖民政策の推移變遷が如何なる事實を吾人に提撕しつゝあるかをすら覓めず、聞くに堪へざる僻說を敢てしつゝある以政黨界然り言論界亦た絲らざるなきが如し、臺灣の施措に就ては如何讀韓の經營に就ては如何識者として論者の意見が斯程迄に淺薄なるかを疑はしむるなきに非ず、而かも就中韓國殖民を論ずる者に到て其多數を見るは余の胸に長大息する所なり、則ち彼の殖民史の何物たるを解せざるの致す所は政治的施設に於て漸進同化主義を採用すべき乎將た亦た急進同化の政策を採用すべき乎の根本要義をすら不問に附し、從て眼前の事實を捕捉して皮相の斷案を下さんとするが如き輕論者の無頼砲なる誤かを之に驚かざるものあらんや、殖民統治の根本要義に就ては識者間既に定論の存する在り、他の親因なきに非ざるも彼の佛國殖民の治績遠々として揚らず常に被保護國民の怨嗟を招きつゝある所以のものは急進的同化政策の採用により殖民地の社會制度を破壞せんとするの結果に外ならず、之に反して英國の殖民統治が累年光輝ある治績を貽し、つゝある所以は、英國民先天の治材に俟つ大なるものありと雖も、其主たる原因は殖民地の風俗人情及び社會組織の奈何に考慮し、徐ろに母國の制度文物を移植せんとする所謂漸進同化の政策を以て統治上の要義となすに在れば、說をなす者あり曰く佛英兩國統治上の治績が如斯彼此軒輊ある所以のものは、兩國民先天の特性に因するものにして主義政策の異同を以て論ずべきに非ずと謂ふと雖も余は到底斯かる所說に首肯する能はず、識者諸人の輩は殖民の先驅者として多くの奮闘的歷史を貽せしに非ずや、彼の亞細亞國民が眞里の長城に奈何なる活動を敢てせし乎、論者の言の如く常軌民族のみを以て殖民者のオーソリチーとなすは穿たざるの甚だしきものなり、明ふ迄もなく當時の歐州はマーカンチリズムの思潮界に沈淪し鎖中並蓄兩國の如きは實に殖主義の實行を以て立國の根本要義となせしに在り、而して彼等國民は殖民地を目して一に寶庫珍寶獲得の場所なりとなし其施設經營の如きは殆んど之を眼中に置かざりき、殖民の後進者たる英佛と雖も當初の觀念は亦た亞細亞國と其軌を同じ敢て大なる注意を殖民地に拂はざりしは此館く之を說明せり、翻近帝國主義の一度び唱導されるや、歐州列國は海外領土の經營を以て國民勢力の發展に在りとなし、就中獨逸の如きは殖民經營を解釋するに於て母國超過の人口を排泄し富の分配を公平ならしひべき合理合法の政策なりとするに到れり、蓋し殖民地の經營は經濟上の目的を達する上に於て急進同化の政策を採用すべき乎將た亦た急進同化の政策を採用すべき乎の根本要義をすら不問に附し、從て眼前の事實を捕捉して皮相の斷案を下さんとするが如き輕論者の無頼砲なる誤かを之に驚かざるものあらんや、殖民統治の根本要義に就ては識者間既に定論の存する在り、他の親因なきに非ざるも彼の佛國殖民の治績遠々として揚らず常に被保護國民の怨嗟を招きつゝある所以のものは急進的同化政策の採用により殖民地の社會制度を破壞せんとするの結果に外ならず、之に反して英國の殖民統治が累年光輝ある治績を貽し、つゝある所以は、英國民先天の治材に俟つ大なるものありと雖も、其主たる原因は殖民地の風俗人情及び社會組織の奈何に考慮し、徐ろに母國の制度文物を移植せんとする所謂漸進同化の政策を以て統治上の要義となすに在れば、說をなす者あり曰く佛英兩國統治上の治績が如斯彼此軒輊ある所以のものは、兩國民先天の特性に因するものにして主義政策の異同を以て論ずべきに非ずと謂ふと雖も余は到底斯かる所說に首肯する能はず、識者諸人の輩は殖民の先驅者として多くの奮闘的歷史を貽せしに非ずや、彼の亞細亞國民が眞里の長城に奈何なる活動を敢てせし乎、論者の言の如く常軌民族のみ

露國東洋艦隊

露國黑龍江艦隊は一九〇七年より其の建造に着手し昨年末までに竣工せし砲艦數隻に達し其の他同艦隊用小蒸汽船數艘の新造を完成せし由なるが其の主要部は波羅的造船所に於いて之れを製造し續造に依つてストレチンスクに輸送し同地シルカ河岸の造船所に於いて之れを組み立つるものにて目下此れ等の砲艦は同地ユクイヲ根據となし昨年夏期には流れに遡りて既にハバロフスクに達したるものあり該艦隊は黑龍江の流域即ちポクロフカよりハバロフスクに至る河岸防備の任に當るものにして裝甲艦は野戰砲に到すべき小砲を有し其の他は有事の秋に際して別動隊となり齊船保護の任務を遂行すべく且つ敵の義河上陸を防ぎ陸上の獨立砲兵及び小部隊の敵を攻擊し河岸偵察の

韓國經營と人口問題（一）

於仁川　山下南海

韓國經營を論ずる者須からく眞摯の研鑽に待ちて確實の資論を主唱せざるべからず、然るに世上殖民の何物たるを解せず亦た列國殖民政策の推移變遷が如何なる事實を吾人に提撕しつゝある以政黨界然り言論界亦た絲らざるなきが如し、臺灣の施措に就ては如何讀韓の經營に就ては如何識者として論者の意見が斯程迄に淺薄なるかを疑はしむるなきに非ず、而かも就中韓國殖民を論ずる者に到て其多數を見るは余の胸に長大息する所なり、則ち彼の殖民史の何物たるを解せざるの致す所は政治的施設に於て漸進同化主義を採用すべき乎將た亦た急進同化の政策を採用すべき乎の根本要義をすら不問に附し、從て眼前の事實を捕捉して皮相の斷案を下さんとするが如き輕論者の無頼砲なる誤かを之に驚かざるものあらんや、殖民統治の根本要義に就ては識者間既に定論の存する在り、他の親因なきに非ざるも彼の佛國殖民の治績遠々として揚らず常に被保護國民の怨嗟を招きつゝある所以のものは急進的同化政策の採用により殖民地の社會制度を破壞せんとするの結果に外ならず、之に反して英國の殖民統治が累年光輝ある治績を貽し、つゝある所以は、英國民先天の治材に俟つ大なるものありと雖も、其主たる原因は殖民地の風俗人情及び社會組織の奈何に考慮し、徐ろに母國の制度文物を移植せんとする所謂漸進同化の政策を以て統治上の要義となすに在れば、說をなす者あり曰く佛英兩國統治上の治績が如斯彼此軒輊ある所以のものは、兩國民先天の特性に因するものにして主義政策の異同を以て論ずべきに非ずと謂ふと雖も余は到底斯かる所說に首肯する能はず、識者諸人の輩は殖民の先驅者として多くの奮闘的歷史を貽せしに非ずや、彼の亞細亞國民が眞里の長城に奈何なる活動を敢てせし乎、論者の言の如く常軌民族のみ

日本米穀消費趨勢

米穀は本邦人の主食物にして年々六千萬人内外の割合を以て增加しつゝあるも本邦民に對し正比例を以て其の需要を來せり過日我が農商務省に於て調査せる米穀消費の趨勢を見るに明治二十年に於ける消費額は三千六百八十萬石にして對一人消費額は九斗四升三合なりしも同三十年には消費額三千九百餘萬石一人に對して九斗五升二合に增加し亦四十一年には五千百八十九萬餘石一人計消費額は一石四升五合に增進せるが是れ等大体の趨勢を察するに一箇年間の米穀消費額は約四千八百萬石内外にして之れに對する最近の平年作は約四千六百萬石なるを以て現時の人口に對する本邦米供給不足額は約二百万石なるべし故に本邦に於ては年々二百万石以上の外米輸入をなさゞるべからず之れ等より察する時は韓國米は從來より以上の本邦輸出を見るに至るは勿論なりと云ふべし

●金融界活氣を帶ふ

昨年以來の不景氣のため資金固定し市場頓に振はず開散に越年し又昨年の如きは一昨年の餘波を受けたるも一方一昨年の農作不況なりしために不振なりし市場は一層寂寞を呈しために市場は殆んど成す術を知らず到底人爲を以て恢復する能はざる狀態に陷りたれば諸物價は河水の落つるが如く放落し金融市場に大影響を與へ果ては利子引下げを斷行するの已むなきに至り京城重なる處は各提携して利子引下げ行い急場を救濟せんとするも一端不況に陷りたる市場は急に恢復すべくもあらず不景氣經理に四十二年を越歲したる時に因りて一月に入りては日未だ淺きも大豆の相場少しく上昇したれば開墾、長崎の大豆產地より輸入は何れも實進みの体となり遠くは黃海道方面の大豆も當市場に現はるゝの盛況を呈するに到れり又一方米穀は昨年度は賣に於ても佳良なりしを以て新業者は進んで買占ひる有樣なれば市場漸く調澤を示して活氣を帶ぶに至りたれば各銀行共に相當の貸出しありて漸く窓眉を開くに至りさしも緩慢の聲高かりし金融市場は顧潮に向ひつゝあるものゝ如し此の分に打續かば今年は一昨年以來の不景氣を挽回するに難からざるべし

日本銘刀傳

第十九席　邑井一講演

正宗は眞宗と同室して京都へ上りまして夫れより師路で正「眞宗や」眞「何と父上」「何御用でございます」正「外でもないがもう、俺も何時此方へ來られるか分らぬから、兼ねて信仰して居る多土明神へ參詣しやうと思ふが、何うだ」眞「夫れは結構でございます、此の多土明神と云ふのは勢州から美濃の大垣へ出る道筋でございます、二人は杖を曳いて多土町へ着き、同處のかめ屋と云ふ旅店へ這入る　男「入らつしやい、お早い御着き後でございます、毎度御贔屓に相成りまして難有うございます」正「二人だから何分宜しく……何うか靜かな座敷があるなら通して貰いたい」亭主「承知致しました、裏の離座敷へ御案内申せ、唯今お書を……ソレお草鞋と甲掛けを片付けて上げな……」きみや「…お來を上げな……ソレ〜〜燈籠を裏へ這入るは……」亭主「なか〜口がやかましい、兩人は座敷へ通りまして正「此れをお茶料に……」女「ハイ〜〜有難う……」亭「唯今は有難う……お風呂が沸うございます」正「今晩は御厄介で……」亭「ハイ〜〜長まりました」二人は風呂へ這入まして夕飯の膳に向ひ、酒も仕舞、飯の箸を取り上げると、隣でチン〜〜と刀を鍛つ音が聞へる、商賣だけに正宗眞宗思はず顏を見合して眞「父上、此邊には珍らしい槌音でございますな」正「去れば……ア、好い調子だ……」と二人共箸を取り上げ、膳の側を正宗は向槌の調子取れば眞宗が本槌になり、トン〜〜〜と叩き初めた給仕の女は呆氣に取られる……、其内に一人「ホイ仕まつた」女「お仕舞ならば膳を下げませうか」正「イヤさうじやない……御亭主を爲度呼んで下さい」亭「何か御用でございますか」正「態々呼立て申して濟ぬが、此の隣に刀鍛治でもありますか」亭「ヘイ〜〜イヤお隣の親方は、大層な名人で……先づ日本に幾人と申す人で……併し彼の人の鍛治た小刀や、庖丁は、切れ過ぎて困りますので……然し刀は嘸宜うございませう」正「さうだらう……何んと云ふ人だね」亭「喜左衛門さんと云ひます」と、聞て二人はハッと息を吐き、扨てこそ喜左衛門村正が彼樣な處へ流れて來たか、必がらとは云ひながら、斯かる街に住みて、一生名前を揚ぐることが出來ずに仕舞つたわ、まだ我が折れぬと見ねる、因つたものだ」と、流石自分が子飼から手塩にかけて育て上げし、村正の零落を聞くに付け、見るに付け、奮情を思ふ胸のうち、眞宗も又た兄弟子が、斯くの如き有樣に、打沈んで居ると思へば言葉なし正「御亭主、隣の親分は上手だが、斯があつて往かぬ、苦し逢つたらば言つて遣つて下さい……」御亭主、刀は人の魂となるものだから六かしい唯槌音を聞いて居れば、チンカンと聞へるが、中々大變な者だ、地金を延して力を鍛治時に、最初三十六鍛つのが地の三十六を表し、二度目に二十八鍛つのが、天の二十八宿だ、夫れから十二陰陽、二十五音の槌と云ふのだ、十二陰陽とは、先づ六つは陽にして、春夏とし、跡の陰は、秋冬と見做すのだ十三鍛つ時のあるのは閏月のやうな者だ、一番仕舞に上槌と云ふのが、書師が人物を書いて、眼を入れるやうなものので、其の人の丁寧を寫すと云ふ面倒な處だ、六かしく言へば書體點睛だ亭「ヘー大層六かしうございます、もう一度言つて下さい」正「能く覺えて下さい最初三十六鍛つのが地の三十六を表し二度目に二十八鍛つのは天の二十八宿を象り、十二陰陽十五音の槌と云ふのだ、上槌が惡るいのでケスパリ疵が出て役に立たぬ、必らず折れる、差す人に送書を掛けると言つて下さい」宿屋の亭主は一ん紙へ書付けてある

廣告

御待合　新築開業
京城永樂町三丁目永樂湯前
松月
電話一三四五番

キリウ　一コッキ　最上醬油
龍
仁川醬油株式會社

牛乳
京城南大門外
荒井牧場
電話一四五六番

綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ッ角
御問屋　唐川商店
電話二六一番

誠實勉強
御洋料理
食べすき
當出前仕候
京城鐘路裁判所向裏
鐘路軒

資本金一千萬圓
積立金五百十萬圓
株式會社第一銀行京城支店
電話一一番　六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店　東京市日本橋區兜町
支店及出張所　大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、鄂大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區、大阪、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

瑞西タバコ
時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計
米國アンソニヤ時計
獨逸國スチンジャ自轉車
韓國特約販賣店
時計卸商
仁川本町三丁目
喜多金光堂本店
時計卸小賣
京城本町二丁目
喜多金光堂支店
電話七五〇番
電話千十五番

天下大安賣
種子苗木
東京內藤新宿
日本種苗株式會社
（カキ御申込次第無代進呈）

志ちや
（電話一八二番）
一口十錢限りにて御用を濟す御預り品は至極丁寧に保管し出來得る限り便利を旨とす
京城曙町
大槻商行質部
流出品は家屋の許す限り期限後と雖も充分保存し親切を旨とす

シガー、ブドウ酒、ブランデイー、洋菓子、果物カン詰類
シガレット、シヤンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン水
卸小賣　歐米雜貨酒類食料品　洋煙草類　金銀屏風美術品
直輸入商　京城本町二丁目　辻屋　本店電話二四八　支店電話三六六

京城新報

滿洲劇の開幕（四）

韓半島に及ぼす影響

ハアリマンが桂滿鐵総裁案を立てたのは事實である、併し彼が之を爲すに到る迄には只り露人から相談を受けたのみならず他の國人からも相談を受けたのである、彼は突然病歿した、けれども彼の立案は殘つた、而も其殘つたハアリマン案に米國政府が**中立鐵道**なる**政治的外交的**の北支を横ぎり列國に提議するに至つたのは一体何から來て又何を意味するのであらうか。

抑も米國今回の提議を世人が**突然**なりと云ふは**間違**つて居る、何となれば此提議が公然我に向つて爲されたるは昨年末の事であるけれども我露ケ關血何にボンヤリなりと雖ども斯る重大なる提議の來るのを疾くから知つて居らぬ筈はないのである、否な慥に知つて居つた筈の理由も十分にあるのである、余輩は政府當局者に非ず、また外交官にも非ず、而かも今回の提議の起らんとするを知つたのは**昨年の春**である、余輩は常に注意を怠らなかつた、而して愈々提議の來るべきを慥かに知つたのは昨年の秋だ、當時余輩は餘計な事とは思つたが**施政上**の參考にもならんかと提議の概略を我**統監府**に知せた**曾禰**統監や**石塚**長官事務取扱は必ず今に**記憶**して居られるだろーと思ふ、常に外交などに餘り關係なき余輩にさへ今度の滿鐵問題が昨年中から知れて居つたとすれば我外務當局者に知れて居らなかつた筈は決して無い、而るに我**霞ケ關**が今日に於て世人と一ショになつて全く突然の提議などゝソラトボケて曉いで居るのは決して**外交の本義**を盡して居るものとは云へない。

世人の記憶する如くロンドンタイムスは其外交部長**チロル**を昨年四月特に東洋に派遣し親しく滿洲問題を研究せしめたり、チロルは北京に遊び滿洲を踏査し東京に出でて故**伊藤公**、**桂**首相、小村外相、後藤逓相等と數回の會談を遂げたり、而して此會談の主題が滿洲の門戸開放機會均等及び滿鐵問題にありしことは特に言ふを要せざるところである、チロルは我代表的諸政治家と意見の交換を遂げたる後韓半島を觀察し二たび滿洲を經て北京に遊びたり、其後彼はシベリヤ線に因つて**歸英**の途に就くべき**豫定を變更**し北京を去つて上海に出で歸英の爲には**迂回**なる**太平洋**の航路を採りて**米國**に赴きたり、チロルが米國に於て何人と何を語りたるやは今に於て說くの要なし只余輩は英國否な英國民を代表するロンドンタイムスが何の爲に態々チロルを送つて滿洲を研究せしめたかを世人が考へんことを望むのである。

東京電報

▲**曾禰統監の參内**　曾禰統監は來る十七日宮中へ參内、聖上陛下へ烟草敕函、皇后陛下へ平壤栗等を献上せらるゝ筈（十四日）

▲**在韓官吏の更迭**　曾禰統監は政府と交渉の結果近日統監府吏員及び韓國政府傭聘の日本人官吏の大更迭を行ふと（同上）

▲**關東都督の辭任**　關東都督大島大將は上京以來外交權一手掌握問題を提けて外務省に迫りつゝありしが終に譏合はず昨十三日辭表を提出せり（同上）

▲**對米方針一變**　日本は從來米國に對し成べく穏和手段を採り移民問題の如き米布合併問題の如き當時約諾したる既得權をさへ上張せず米國の希望を滿足せしめたるも今回滿洲鐵道中立問題を提唱したるは實に米國の眞意を解する能はず今後に於ては對米策を確立する爲め對米同志會の組織を見るべし（同上）

▲**米國大使の取消**　東京各新聞は米國大使オブライエン氏の滿州鐵道中立問題に關する談話を掲載したるに同大使は本國政府の注意に依りてか前言を取消せり（同上）

▲**銀行利子引下**　日本地方銀行利子を始めとし各銀行の預金利子を發表するや各地方銀行も之に倣ひ銀行利子引下を決行しつゝあり

▲**捕鯨總會の開催**　全國捕鯨業者より成る大日本水産組合は目下引續き大坂に於て同總會を開催し漁業權の保護に關し當局者に請願せんと協議中なり（同上）

▲**工科大學の工事**　目下創立委員の手に調査中なる福岡工科大學創立に就き實地調査中なれば近々設工事に着手し四十四年九月の新學期より開始することゝなるべし（同上）

▲**濱職議員の服役**　日糖會社より贈賄を受けたる濱職議員の上告審確定し服役せり（同上）

▲**横井時雄の出獄**　日糖濱職代議士横井時雄は本日出獄せり（同上）

雜報

國境稅關の稅率

今般清國政府は渾春及間島に稅關を開始し輸出入の貨物に對し課稅するに就ては如何なる稅率を課すべきやは疑問にして又一問題なるが元來清國の稅率は北清事變後に於て各國の代議員が上海に集合し稅率を引上げ從前從價稅二三分なりしを約五分に爲したるものにて之れを事變の抵償と爲したるものなるが日本にては勅令を以て六箇月毎に其價格を定むることになり居れり然るに清國に於ては前記代議員會議の時に於て決定したるものは其の後何等の變更を爲すこと能はず若し夫れ今次の開闢に於ける稅率を知らんとすれば必ずや此範圍を脱し得ざることなれば其筋にては之れが情況に付目下間島へ照會中なりと云ふ、尙清津港の貿易は一箇年約三百万圓にして國境貿易は百萬圓位なりと

民團所有の財産

京城民團に於ける所有財産の現在如左

土地	坪數	價
建物	二四〇、〇九六・五二五	三六、六二八・七五〇
一、三九・七五〇	八六、三六二・二〇〇	

皇太子殿下御下賜金	二、一〇一・〇〇〇
幼稚園基金	八〇〇・〇〇〇
小學校基金	一、〇〇〇・〇〇〇
高等女學校基金	一〇〇・〇〇〇
大神宮基金	五〇・〇〇〇

尙ほ其以外に於て權利財産に屬する永久無價使用認可及借用地二万三千五百四十坪四合四勺五才あるが更に其財産より生ずる收入を見るに左の如し

不動産收入	七、六六四・〇〇〇
動産收入	二、三七・〇〇〇

而して民團財政の永久的鞏固を計らんには權實なる基本財産の設定最も急務なりとて古城民長は此點に大に注意し居れり

金融市場の好況

近來金融市場の景況は非常に良好にて殊に地方に於ては大豆、棉花及米の豐作のため農民の財政非常に餘裕を生じたる爲め租稅徵收成績の如き近頃までに三百萬圓を計上するに至り之に由りて今回内部にて登録の報記官一倉見を銀行に就き實例無きことなりと雖ども近頃の金融緩慢も影響し居れることなるが昨冬は大阪の金利が七八厘方騰貴し居りたるものも本春に至りては著しく下降し日本銀行の如き手形割引に對して一錢四厘乃至一錢五厘を唱へて其の低利なること實に珍しきことには貸付利子は一錢二厘にして十年以來の現象なるが續て當地韓銀發行高の如きは一千三百餘萬圓を呼ぶに至り所以のものは米穀の豫約良好なる爲め之れが買出しに資金の需要を喚起するに至りし爲なりと云ふ

米豆の市場相場

最近司稅局の調査に係る仁川外七市場の米及大豆卸賣價額は左の如し（但し左表は中位を標準とし忠南の江景は報告なかりしを以て十二月號を摘錄す）

市場名	玄米	大豆
仁川	五、一五〇	四、五〇〇
江景	四、五〇〇	四、九〇〇
群山	四、九〇〇	五、二〇〇
木浦	五、二〇〇	五、四〇〇
馬山浦	六、五〇〇	五、六〇〇
密陽	四、一〇〇	四、九〇〇
海州	三、九〇〇	三、二〇〇
鎭南浦	三、二〇〇	三、四〇〇
龍岩浦	五、〇〇〇	五、五〇〇
平均	四、六〇〇	四、六〇〇

●**營林廠製材と需用**　從來韓國に於て需用せる木材の多くは日本より輸入し來りしものにて羅南龍山等に於ける兵營工事を始め鐵官衙等の建築工事に要する木材は重もに此方面に於ける需用に充てられたるものなりしが近來兵營工事並に京釜京義沿線の建築材料は統監府營林廠の鴨綠江岸材を使用せる爲め著しき減少を示すに至れり今左表に就て之れを見るに四七月の兩月に於ては多少の增加ありしと雖も其他は毎月減少を示して一月以降の累計にては常に著大の減少を見るなり昨年一月より十一月迄に度支部建錢所が買收せし營林廠製材の總高は實に四万六千尺〆約五十万に上りたりと

木材及板の輸入兩年度比較

	二一年	一一年
一月	五九、四〇一	七、五六六
二月	四四、七六〇	二、一九五△
三月	一〇六、二二一	六四四、二二〇△
四月	一二七、三七〇	一九、五三八△
五月	一二九、八六九	二三三、三四〇△
六月	一九〇、二〇〇	八五、四一〇△
七月	一五二、八〇四	九〇、二四四△
八月	一六三、八八八	二六、五八〇△
九月	一四二、五四〇	三七、七六〇△
十月	一三〇、〇三五	二五、四五六△
十一月	二三〇、〇三五	九、九三〇△
十二月	二四〇、〇九七	六、二九二△
合計	一、二六七、八三二	四、六三二△

（△は減）

●**各道の社還米狀況**　韓國各道に於ける社還米は春時農民に貸與し秋期の收穫と共に十分の一を加へて還納せしめ備荒貯蓄の目的に供しに過ぎざるを以て慥に彼が之を爲すに到る迄には只り露人から相談を受けたのみならず他の國人からも相談を受けたのである、彼は突然病歿した、けれども彼の立案は殘つた、而も其殘つたハアリマン案に米國政府が**中立鐵道**なる**政治的外交的**の北支を横ぎり列國に提議するに至つたのは一体何から來て又何を意味するのであらうか。

抑も米國今回の提議を世人が**突然**なりと云ふは**間違**つて居る、何となれば此提議が公然我に向つて爲されたるは昨年末の事であるけれども我霞

諸看板製作　油繪肖像畫●硝子金文字入ペンキ塗工事大廣告看板　氷業町二丁目　赤門通り　椹野工舎

拳骨（六）

桃陸

「那麼事には互ひだがね」

「久十君は餓死みなながら、福と云ふ字は貴は嫌ひだ」

「僕ア今朝まう思つたね、福と云ふ字は貴に縁の薄らぬ力を持つて居る者だぜ——」

「君が酒を解禁するのか」

「君こそ解らんが酒が其の人に與へる狀態は僕等の方が可く解つてるさ」

「欲張るなんか怎うでも可い、僕は喉が解する丈で得心する」

「然しれ笑ひいもんさ」

「何が」

「何がつて君達が重なるに隨つて一刻々々に人間が變つて來るからに笑ひいちやないか、先づ近い例が過日の宴會さ、始めは鹿爪らしい顔を拵つたり様を整らうたり至極自重してムる樣に見るが、少し酒が廻り始めるとまるで話しになるん、三十分前迄は椀の蓋を除るにさへ人の氣息を伺ふた奴が其の蓋を投げるやら肌を脱ぐやら全然狂人だね、流石は其道だけに藝者なる者がていらの呼吸は可く合點した者だ、人皆真面目な最初の程は借りて來た猫の樣にチヨコナンとして居るがサア大酒がが入つて來たと見ると實に賑うし騒しくなるには呆れる、ふ、常なれば近づく事も出來ぬ可い年をしたつ、へて叩く笑き飛す「ヘ、ン濟まんな」

「そと君鼻で遇らつてるんだ、皆口博士の如きは頻りに鼻を摘まれて喜んで居た叔父、僕は博士に對しては充分で敬意を表して居つたのだが其度態を見せられちや何だか馬鹿にされた樣な氣がしてね」

「下戸の丁見は其位の者さ」

「然し飲んだ時の狀態は君解るまいが」

「だから駄目だと云ふんだ、解る間はまだ酔つてるんぢやないぞ」

「成程ね、飲む人の丁見は其位の者だらう、僕ア斯う思つたね、若し假に釋迦が犬の大酒食ひでもつたら怎うだらうと」

「成程」

香澤君妙に感心した。

「キリストでも鼻はんさ」

「面白い、マリヤの頭位は撲つたかも知れん」と慫し相に云ふ、

「高山さん此上しなさい、對手になつたつて駄目ですよ」

「ア然うでしたね話が飛んだ棧道に入りました」

「其の今朝の暖動と云ふのは柳もれ陽りー」の感聲から始まつたんだ、平氣な顔で六疊の室に這入つて來た來山君は（や怎うか爲たか）と床の夫人を見て其れでも一寸小首を傾つて訊たれ思ひなさい、た六夫人は背を向けたまゝ返事もしません、（頭が痛ひ相だ）と僕が替つて答ゆると（香藥を飲むと妻の頭が直に痛み出すんだ妙な頭ぢやないか、理屈で僕は聞れ迄二日酔と云ふ事を爲た事がない、忠實な者だ、吾輩の頭痛は君が飲度寝が引受けてゐるんだよ）と大胡坐を掻いて怎うなんです（何とれ仰有いました）夫人は眼色を替へて向き直つたね、此れからが活劇さ、僕こそ可い面の皮だつだよ。

銀貨偽造犯就縛

▲水岡に於て偽造京都水岡に於て韓人數名共謀し銀貨を偽造せる犯人釜山警に逮捕せられたり今其詳細を記せんに

▲昨朝十八日頃忠清北道黄間郡秋風嶺にて日韓銀貨の五十錢廿錢十錢五錢等を偽造貨を使用するものあるより永岡警察署にては密かに探偵したる結果遂に偽造銀貨行使者として拘引し其後取調べ中なりしが彼等二名は終に包みきれず昨年陰暦十月三日頃慶尚南道金海邑林鶴峯方にて京城南部長道坊帽谷六十統六戸趙召史方黄凡秀（ニ）と共謀して偽造したる召史を逃一自白に及びたれば即記黄凡秀も直に拘引されて取調中又も彼等は其逮累者を自白したれば

十一釜山警察署有馬、山上、吳の三刑事永岡警察署の多田上田西巡査の五名は連累者たる絶影島居住金性旭（ロ）金太玄（ニ）兩名の家宅捜索をなしたる上兩名を同警察署に拘引せり

▲證據品の發見　前記絶影島金性旭金太玄の兩名方にて家宅捜索の際木製錫形粘土塊二電線二電流二粉末粘土一升銅線二十尺ヤスリ三重寶五ポンド銀ロウ百匁位タンバンポンド真鍮ロウ石三ヶ發見したれば證據品として押收したる所前記釜山絶影島居住の金性旭及び金太玄は釜山警察署に於て申立たる所は唯二十錢十錢五錢の銀貨を試驗的偽造したるのみにて未だ行使するまで偽造せざりしと陳述し居れり

行金二萬圓費消

▲支店長の腰巾着仁川百三十銀行用度係に戸尾房太郎（ニ）と呼ふ高樣の若者あり同人は元來同行支店長

兵須久の腰巾着

にして隨て同行中にては巾も利く

銀貨偽造犯就縛

▲水岡に於て偽造京都水岡に於て韓人數名共謀し銀貨を偽造せる犯人釜山警に逮捕せられたり今其詳細を記せんに

▲昨朝十八日頃忠清北道黄間郡秋風嶺にて日韓銀貨の五十錢廿錢十錢五錢等を偽造貨を使用するものあるより永岡警察署にては密かに探偵したる結果遂に偽造銀貨行使者として拘引し其後取調べ中なりしが彼等二名は終に包みきれず昨年陰暦十月三日頃慶尚南道金海邑林鶴峯方にて京城南部長道坊帽谷六十統六戸趙召史方黄凡秀（ニ）と共謀して偽造したる召史を逃一自白に及びたれば即記黄凡秀も直に拘引されて取調中又も彼等は其逮累者を自白したれば

十一釜山警察署有馬、山上、吳の三刑事永岡警察署の多田上田西巡査の五名は連累者たる絶影島居住金性旭（ロ）金太玄（ニ）兩名の家宅捜索をなしたる上兩名を同警察署に拘引せり

▲證據品の發見　前記絶影島金性旭金太玄の兩名方にて家宅捜索の際木製錫形粘土塊二電線二電流二粉末粘土一升銅線二十尺ヤスリ三重寶五ポンド銀ロウ百匁位タンバンポンド真鍮ロウ石三ヶ發見したれば證據品として押收したる所前記釜山絶影島居住の金性旭及び金太玄は釜山警察署に於て申立たる所は唯二十錢十錢五錢の銀貨を試驗的偽造したるのみにて未だ行使するまで偽造せざりしと陳述し居れり

●元山街道の杜絶　精鋭なる武器を所持して學生帽を被り喇叭を吹奏しつゝ進退しつゝある賊魁延基羽は賊魁姜基東と聯合して六十餘名の大團体となり去る九日より抱川郡地方に出没する由にて其爲め元山街道は危險にして交通杜絶の有樣なりと云ふ

●兩賊魁の合併　有名なる暴徒の首魁姜基東及び延基羽の兩人は此程より合併して一の聯合軍を組織し京義道抱川郡地方を跋跳し盛んに掠奪を働くよひ横暴至らざるなきに驚くべきなり去る九日に抱川郡外面初草橋里附近に出没するの情報あり殺戮六十餘名にして隨所に亂暴狼藉を働くよし右につき抱川分遣所よりは直ちに捜索隊を差遣し彼等を追跡せりと

●一昨日の新町　十三日新町遊廓の水揚は七十四人の遊客に對して四百三十三圓六十七錢の帳揚げなりと

●演藝　海座は一昨日來木戸銭無料とし樂敷出孫を除くの外二十錢と三十錢の追込みとなし同大車輪を以て演ずる由にて其爲め元山街道は今十五日の藝題「めぐる

鴨綠江は既に

鴨綠江は既に氷結し人馬の往來盛んなるが相變らず馬賊出没して危險百端なるが本期中馬賊の來襲三十回に及びたるが本年も義州新義州間にて郵便逓送人一名馬賊に襲はれ辛うじて逃げ終ほせたりと

●盜賊一束　新年早々龍山某管内を荒して暴林和事の手に捕へられた盜賊人を引出して自白にかけんに仁川花園洞居申春明（ニ）は去三日龍山厩町花岡組の掏子任昌基（ニ）は一昨十二日六十間除を横場より盜出し友人を連れて京城太平町飲食店渡邊しま方にて散財し居たるを逮捕せられたり

●ケナな土百姓　仁川仲町二丁目居住の煙草商金書房は一昨日午前十二時頃仁川署に出頭して同町人力車横場白石藤藏と云ふが烟草代三十錢を今に支拂はず最も厳しく催促すれば腕力に訴ふるにより致無方面出でしかば本人を呼出して戒めたりと

●鼻柱をブン撲る　南部南門外住の金明化（ニ）及西部賜銀洞住の曹喜倍（ニ）と呼ぶ二人の人力車夫は十三日午後何洞人力車駐車場にて車の置き場より噴嚏を始め折柄酒氣を帶びたる金は强かに曹が鼻柱を擲ちし爲め出血し右の暴逆行所に出たるが微少なる事とて金より十五錢の治療代を支出して事濟み

●淨土宗の講演　本日午後七時より明治町淨土宗開教院に於て同宗青年會講演開會の筈なり同員は水谷鼎彰師の現世主義、最美光世君の人生の三寶の二つにして街同會は今後毎月二回第一第三の土曜日を期して開會する由なり

●豚一頭の拾得　南部小龍洞九十八統住の朴聖賢（ロ）と呼ぶ人力車夫は十三日午後四時頃長谷川町一丁目を空ら車挽きながら通行中所有者なき一頭の豚を拾得し其の旨南署へ申出づ

●新年落會開催　去る十六日（日曜日）午後一時より南山和樂園に於て同會開催の筈なるが其の重なる者は高砂村鹽屋鶴松（ニ）は九日朝印南郡平野村宿屋明石屋にて同家の妻た絹下女山本仙外家族殺らすを殺傷して逃走せり

▲醜市吏員の公判　大阪市吏員伊藤晃及び田村、安藤、中村にかゝる業務横領詐欺事件は十一日一件書類を豫審より廻送當地方裁判所刑事第三部戒田裁判長演出檢事の係にて不日開廷の筈なり

▲一家殘らず殺傷　兵庫縣飾磨郡飾磨村鹽屋鶴松（ニ）は九日朝印南郡平野村宿屋明石屋にて同家の妻た絹下女山本仙外家族殺らすを殺傷して逃走せり

▲醜市吏員の公判　大阪市吏員伊藤晃及び田村、安藤、中村にかゝる業務横領詐欺事件は十一日一件書類を豫審より廻送當地方裁判所刑事第三部戒田裁判長演出檢事の係にて不日開廷の筈なり

▲物好な珍新聞　愛媛縣喜多郡柳澤村大字蕪縄中野鬼五郎は木村（栄祀）辯護士を代理として大阪北區五川町四五高綾源七を相手取り大阪區裁判所へ一圓三十一錢五厘七毛の支拂請求並に訴訟金額に對する差押へ費用一圓八錢三厘一毛合計三圓三十九錢八厘八毛の請求訴訟を提起したるが厘毛附の請求なれば若し原告の勝訴となつたる場合被告は如何にしてこれを支拂ふべきか一件落胆のうへにて双方又もこの點に抗爭す

狂亂菊牡丹

本日休載

各地の新聞

▲蒐金に十錢借せ　九日午後六時半頃東京神田元柳原町燒芋屋勤田大次郎（ロ）と云ふ男が泥酔の千鳥足にて東神田警官に歌々を抱ね警官を嚇らせた揚句十錢貸せと迫りて止まざりしが同署にては酔の醒めるを待つて懇々說諭の上放逐したり

▲津濱ノ老遊殺　愛媛縣三津ケ濱町堀川豊島とよ（ニ）といへる老婆ム十日の朝何者のためにか無殘にも絞殺せられたるが實子熊吉夫婦疑者として同地警察署の手に取押へられ目下取調中

▲古河家と稻瀬川　稻瀬川有村二力士間に紛擾のわり師匠入間川襲名の件は常陸山が預かりて融和したるが去る四日秋元子爵邸に土俵開きの角觝ありて稻瀬川も招かれたり其時觀覽席にわりて古河虎之助氏が稻瀬川の贔屓を見て年嵩なるもまだ衰へず此力士に角觝の教師として體力を養成したし秋元子に請られたるより同子は常陸山をして稻瀬川の諾否を問ひたるに同力士も老後を見捨てられずして扶持せらるゝを喜び時く古河邸に行き運動角觝を催すことになりしより早晩古河邸内に移轉する由

▲しぐみ川の埋立　近松門左衛門の「天網島」に依て有名なる大阪堂島の蜆川は昨夏の大火の結果市區改正の衝に當り今回工事費十四萬五千圓を以て埋立つることに決定したり

●天氣豫報（自十四日午後六時至十五日午後六時）

北東の風曇

十三日（寒氏）　最高溫度　四四・四　最低溫度　二八・九

●移轉廣告

今般下記に移轉致候間此段廣告候也

東京市京橋區木挽町九の十三

韓國皇室御工事請負

韓日實業界社

猪塚愛

昨曉失火の際は早速御見舞を辱ふし感謝の至りに御座候不取敢以紙上御禮申述候也

追て當分の内旭町一丁目安東病院内に立退き致居候

一月十四日　牛丸友佐

●滋養と牛乳●

純牛乳

京城東四軒町　岡野牧場　電話叢〇六九番

●馬車配達●

衛生と消毒

●新濱澤庵●白菜漬●奈良漬

東京神田元柳原町燒芋屋勤田大次郎（ロ）と云ふ男が泥酔の千鳥足にて東神田警官に歌々を抱ね警官を嚇らせた揚句十錢貸せと迫りて止まざりしが同署にては酔の醒めるを待つて懇々說諭の上放逐したり

▲津濱ノ老遊殺　愛媛縣三津ケ濱町堀川豊島とよ（ニ）といへる老婆ム十日の朝何者のためにか無殘にも絞殺せられたるが實子熊吉夫婦疑者として同地警察署の手に取押へられ目下取調中

▲古河家と稻瀬川　稻瀬川有村二力士間に紛擾のわり師匠入間川襲名の件は常陸山が預かりて融和したるが去る四日秋元子爵邸に土俵開きの角觝ありて稻瀬川も招かれたり其時觀覽席にわりて古河虎之助氏が稻瀬川の贔屓を見て年嵩なるもまだ衰へず此力士に角觝の教師として體力を養成したし秋元子に請られたるより同子は常陸山をして稻瀬川の諾否を問ひたるに同力士も老後を見捨てられずして扶持せらるゝを喜び時く古河邸に行き運動角觝を催すことになりしより早晩古河邸内に移轉する由

▲しぐみ川の埋立　近松門左衛門の「天網島」に依て有名なる大阪堂島の蜆川は昨夏の大火の結果市區改正の衝に當り今回工事費十四萬五千圓を以て埋立つることに決定したり

▲一家殘らず殺傷　兵庫縣飾磨郡飾磨村鹽屋鶴松（ニ）は九日朝印南郡平野村宿屋明石屋にて同家の妻た絹下女山本仙外家族殺らすを殺傷して逃走せり

▲醜市吏員の公判　大阪市吏員伊藤晃及び田村、安藤、中村にかゝる業務横領詐欺事件は十一日一件書類を豫審より廻送當地方裁判所刑事第三部戒田裁判長演出檢事の係にて不日開廷の筈なり

▲物好な珍新聞　愛媛縣喜多郡柳澤村大字蕪縄中野鬼五郎は木村（栄祀）辯護士を代理として大阪北區五川町四五高綾源七を相手取り大阪區裁判所へ一圓三十一錢五厘七毛の支拂請求並に訴訟金額に對する差押へ費用一圓八錢三厘一毛合計三圓三十九錢八厘八毛の請求訴訟を提起したるが厘毛附の請求なれば若し原告の勝訴となつたる場合被告は如何にしてこれを支拂ふべきか一件落胆のうへにて双方又もこの點に抗爭す

●諸官衙御用達　京城本町一丁目（長谷川町筋）三輪商會　電話三八六番

●鴨綠江は既に氷結し人馬の往來盛んなるが相變らず馬賊出没して危險百端なるが本期中馬賊の來襲三十回に及びたるが本年も義州新義州間にて郵便逓送人一名馬賊に襲はれ辛うじて逃げ終ほせたりと

●蒐金に十錢借せ　九日午後六時半頃東京神田元柳原町燒芋屋勤田大次郎（ロ）と云ふ男が泥酔の千鳥足にて東神田警官に歌々を抱ね警官を嚇らせた揚句十錢貸せと迫りて止まざりしが同署にては酔の醒めるを待つて懇々說諭の上放逐したり

▲津濱ノ老遊殺　愛媛縣三津ケ濱町堀川豊島とよ（ニ）といへる老婆ム十日の朝何者のためにか無殘にも絞殺せられたるが實子熊吉夫婦疑者として同地警察署の手に取押へられ目下取調中

▲古河家と稻瀬川　稻瀬川有村二力士間に紛擾のわり師匠入間川襲名の件は常陸山が預かりて融和したるが去る四日秋元子爵邸に土俵開きの角觝ありて稻瀬川も招かれたり其時觀覽席にわりて古河虎之助氏が稻瀬川の贔屓を見て年嵩なるもまだ衰へず此力士に角觝の教師として體力を養成したし秋元子に請られたるより同子は常陸山をして稻瀬川の諾否を問ひたるに同力士も老後を見捨てられずして扶持せらるゝを喜び時く古河邸に行き運動角觝を催すことになりしより早晩古河邸内に移轉する由

▲しぐみ川の埋立　近松門左衛門の「天網島」に依て有名なる大阪堂島の蜆川は昨夏の大火の結果市區改正の衝に當り今回工事費十四萬五千圓を以て埋立つることに決定したり

●醫學士北村一等軍醫正（呼吸器病及消化病擔任）を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す

但し名譽院長出診は毎偶數日（丁日）午後とす

病室落成入院隨意　貧民施療

贊化病院

本町四丁目　電話二四番

生殖器科教室奉職の處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒痲病膀胱病生殖器横膀胱の診療に從事

診療（午前自八時正午迄　夜間自五時九時迄）入院隨意

南大門通三丁目　電話一七三番　佐藤皮膚病院

支那領事館前通　京城郵便局後　院主佐藤伊藤

本會提供品に就いては好評嘖々なる第三號品銀側時計の如きは當廣既に滿員と相成締切申候處一月早々地方よりの申込續々到來逓信日附上附絶仕度候に付更に第三號品に限り乙組として壹百名募集致候間此段特に廣告候也

月賦提供　京城時計振興會

くつさき　毛布　たびさき　製

代理店　京城本町一丁目（長谷川町へ通る）　栗永商店

如何なる小さき足袋を用ゆるも差支なし

韓國銀行

電話（長）三三一〇　本店用
（長）二二一一　當直用
（長）三一六二　用度係
一、三六一一　客係
三一〇一　臨時雇傭
二六二一　來用

支店出張所

仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、開城、安東縣、

爲替取引先

東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區（以上日本）釜山、公州、光州、晋州、海州、沙利院、博川、寒邊（以上韓國）大連（清國）

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

美術半襟帶締其他紐類各種　京城明治町一丁目　電話一千四百〇九番　ふり德商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●年齢十五歳位の小僧入用　希望者は京城三井物産京城支店

●小僧入用　十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの　辻屋本店

●迷犬　去年春生の白に茶褐色の斑點ある牡犬一匹迷惑れり心當りの方は太平町古川床へ

物件部

●貸家　北部青柳廿九の酒貸家あり宮内府其他轉勤官吏には便宜の地希望に應じ賃貸上候

●電話譲渡又は貸付　九何〇番直接面談に限る　本町四　貴化堂藥店

●話付き貸間あり　南山町二ノ一〇一　藤井

●志願渡　本町二丁目目抜の場所多年賣込し雜貨店主人實家情願の爲め歸國に就き居抜の儘至急譲渡したし　龍山町一の六〇　山村

廣告

龍山老松町　機械器具製造並鐵工請負業　磯口商店　電話一一九番

龍山元町二丁目　佐藤病院　電話一〇三番

入院隨意　龍山新市街山下町　内科　小兒科　眼科　原醫院

京城壽町三丁目（電話三七八番）　入院隨意　中島醫院　院主醫學得業士　中島貞信

京城本町一丁目憲兵分遣所前　醫學得業士　眼科專門　江頭眼科醫院　（電話三三）　江頭富雄

待春日　今日

きゝめのある　温泉湯

貸席　鐵冷温泉

京城本町一丁目郵便局前　電話千四百十一番

此の温泉は左の如き病に最も妙なり　かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りんこ、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん、腸胃加答兒、淋病、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり

京城光化門通　淺田洋服店　店主　大藤專藏　（電話二四二番）

胃腸消化新劑

殿物消化　ヂヤスタリン　錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢　散劑一オンス入（一瓶）二十錢

蛋白服消化劑　ゲスチンヂ　錠劑十日分（三十瓶入一瓶）三十錢　散劑十オンス入（一瓶）二圓四十錢

右は最近内地に於て急激の需用を來たしたる名藥嘖々たる世界無比の理想的絶品にして所謂實驗には無之候　各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥　韓國一手賣捌元　京城光化門通　大島專藏

石川高等法院判事閣下校閲　今村内部警務局警視閣下校閲　日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明　◎類集整齊　◎校正嚴密　◎携帶便利

統監府裁判所　監獄署　警察署　法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁〇菊判半截形●定價金六十錢

右書は豫期以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を絡約官制官規官等級俸給其他諸給與任用裁判所警察署等の八項に增加し本月一日現行法規を附して巻末に引き出し易からしめ、又は道義なきは勿論索引を附して見出し易からしめ、又は道義なきは勿論索引を附して見出し易からしめ、又は道義なきは勿論索引を附して見